

障害のある方が、安心して働き続けられる仕組みづくりが進んでいます。
ステップアップするために日々奮闘している金澤さん、増田さんと、
2人をサポートする方々にお話を伺いました。
障 害 福 祉 課 管 理 ・ 政 策 推 進 グ ル ー プ ☎ 3 9 8 1 - 1 7 6 6

Interview
1

一般企業で働くことを目標に
頑張っています！

● チャレンジ就業員 ^{かなざわ とも き} 金澤 知輝さん



◀おすすめのパンを紹介する金澤さん



▲毎週のパン販売で、接客も慣れてきました



▲清水さんにアドバイスをもらいながら事務作業を進めます



普段は区役所で郵便の発送作業などの事務のほかに、パン販売などを行っています。月2回は図書館で清掃、月1回は東部子ども家庭支援センターで事務作業を行っています。輪ゴムの留め方一つでも工夫できないか考えながら作業した結果、仕上がりがきれいと言われ、たくさんの仕事を依頼されるようになりました。また、パン販売など、今までやったことがなかった接客の仕事をしたことで、働くことに対して自信ができました。仕事に取り組むなかで、「やってみないと分からないからやってみる」をモットーに、何事にもチャレンジするようにしています。仕事が終わらなかったとしても、「できなかった」と捉えるのではなく、「少しできた」「次に向けての改善点が見つかった」と考えて前向きに取り組むように心がけています。

● 障害者就労支援専門員(チャレンジ支援員) ^{しみず もと こ} 清水 元子さん

チャレンジ就業員が様々な仕事ができるように調整・支援をしています。報・連・相や人に相談する力など、社会人としての基本を身につけて、一般企業に自信を持って羽ばたいていけるようにするのがチャレンジ雇用制度の意味だと考えています。新型コロナウイルスの影響により求人が大幅に減っている状況で、少ないチャンスを活かせるように、普段と違うパターンを想定し臨機応変に対応できるようにしています。

チャレンジ雇用制度
区役所などの自治体で
就業経験を積み、
一般企業への就労を
目指す仕組みの
こと。

働くが
自信に！

Interview
2

どんどん仕事が楽しくなります！

● (株)電通そらり社員 ^{ますだ かい と} 増田 海斗さん



▲収穫した野菜から作ったドライ野菜は増田さん自慢の商品です



▶野菜レポートの成果です

区役所でチャレンジ就業員として勤務後、昨年(株)電通そらりに就職しました。週3日は農園でじゃがいも、にんじん、さつまいもなどの野菜の栽培、週1日は電通本社ビルでの清掃、残り1日は在宅勤務をしています。面接のときから農園を志望していたので、野菜についている虫を取り除いたり、収穫をしたりと、自分の好きところで働くことができうれしいです。収穫した野菜や野菜から作ったジャムなどを近くの区役所などに販売しに行くことも楽しいです。また、本社での清掃は30階を担当しています。窓から見える電車などの景色を楽しみながら作業しています。在宅勤務の日は、栽培している野菜について研究して、まとめています。



● (株)電通そらり サービス開発部 ^{しだら} メンター 設楽 ひとみさん

農園では、10名のサービススタッフ(障害のある社員)に対し3名のメンターが、サービススタッフのシフト決めや仕事のアドバイスをしています。仕事内容を伝えるだけでなく、一つひとつの仕事の目的をしっかりと伝えて、一緒に考えることを大切にしています。長く働き続けることができるように、そして一人ひとりがやりたいことに挑戦できるように、どんどん新しい仕事を創っています。また先輩が後輩に教えるなど、年齢を重ねてもやりがいのある職場を心がけています。



野菜に虫は大敵。一つひとつ丁寧に取り除いていきます

障害者美術展
「ときめき想造展」

今年はオンライン展覧会として開催！自由な発想と感性があふれるアートをぜひお楽しみください！3月下旬、特設ホームページで作品公開予定。詳細は区ホームページを確認してください。

- 3 すべての人に健康と福祉を
- 8 働きがいも経済成長も
- 10 人や国の不平等をなくそう
- 11 住み続けられるまちづくりを